

「第2期神奈川区地域福祉保健計画」素案に対する意見募集の実施結果

1 意見募集期間

平成22年1月15日から2月15日

2 意見提出者数

12人（男性8人、女性3人、不明1人）

3 提出方法

- ・ F A X 8 通
- ・ 直接持参 2 通
- ・ 電子メール 1 通
- ・ 郵送 1 通

第2期神奈川区地域福祉保健計画素案に対する区民意見

1 地域別計画について

反町地域ケアプラザ①エリア
<意見内容> <ul style="list-style-type: none">・「次代を担う人の参加促進」について、町内会活動参加を促す取組に「30～40歳台に的を絞り各世帯に訪問する」意気込みがほしい。以前参加した地域行事は高齢者が主体であった。・「回覧板の手渡し、情報は口コミで流す」とあるが、マンションでは世帯数が多く、町内会班長が行うのは困難。・「有識者から次代の担い手の話をしてもらおう」とあるが、区やケアプラザからの指導はないのか。 〔神奈川地区〕
<対応・考え方> <p>地区で話し合われた重点課題への取組には、若い人や子どもの親世代を対象とした取組が盛り込まれています。また、回覧板の手渡しなどの町内会の取組について、具体的な手法は地域の実情に応じて行われますが、地域に住む一人ひとりの参加を得て、行われることが必要と考えます。</p> <p>区と地域ケアプラザの取組は地域別計画に掲載しておりますが、担い手の参加促進については、区や地域ケアプラザが地域と協働して取組を行ってまいります。</p>
反町地域ケアプラザ②エリア
<意見内容> <ul style="list-style-type: none">・地域ケアプラザを早急に整備してほしい。・地域ケアプラザについて、空き部屋の借り上げによる相談窓口の設置や、町内会館との連携によるデイサービスの実施などの手法も考えられる。
<対応・考え方> <p>未整備エリアへの地域ケアプラザの整備について、区役所の取組として「地域別計画」「区全体計画」に掲載し、取り組んでまいります。</p> <p>整備手法については、いただいた御意見も参考に検討してまいります。</p>
沢渡三ツ沢地域ケアプラザエリア
<意見内容> <ul style="list-style-type: none">・人材育成や住民の意識改革が地域活動のポイントになっている。・オープンカフェのようなアンテナショップやアートイベントが商店街にあると若い世代が参加するのではないか。・重点課題「近隣との交流」について<ul style="list-style-type: none">①「学校だより」は自治会長さんをお願いして回覧しており、「あいさつしながら手渡しして配布」することは不可能。②会食のみでなく、ふれあい訪問に小学生が同行しているので「小学生との会食」より「交流」が適切。③「子どもと高齢者が一緒に楽しめる企画」の事例は特定の自治会の活動。他町内会とのバランスを考えた記載を。
<対応・考え方> <p>「回覧板を回す時や、小学校便りを配布する時」→「回覧板や、小学校便りを回す時」としました。</p> <p>「小学生との会食」→「小学生との交流」としました。</p> <p>「子どもと高齢者が一緒に楽しめる企画」の事例に他町内会の企画の表記も加えました。</p>
片倉三枚地域ケアプラザエリア
<意見内容> <ul style="list-style-type: none">・「定年退職」という表現は、定年前に退職する人が多いことから「退職後」「自由時間のある」などの表現がふさわしい。活動が可能なのは高齢者のみではないので「特に」「とりわけ」という表現にした方がよい。・活動の担い手の若返りが必要。・隣近所の交流が基本となり、担い手の確保に発展するべきと思う。マンションの新住民とのコミュニケーションを働きかける必要がある。 〔神大寺地区〕
<対応・考え方> <p>「定年退職した方や高齢者の方」→「退職した方や高齢者の方など」としました。</p> <p>いただいた御意見については、地域や関係機関と共有し、今後の計画の推進に生かしてまいります。</p>
地域の指定のないもの
<意見内容> <ul style="list-style-type: none">・課題と取組において話し合いを重ねていけば、いろいろな事柄が見えてくると思う。
<対応・考え方> <p>いただいた御意見を今後の計画の推進に生かしてまいります。</p>

2 区全体計画について

区全体計画全般について
<p>＜意見内容＞</p> <ul style="list-style-type: none">・保健所との関係がどのようになったのか理解しにくい。区役所のシステムや計画が変わるとついていけないことがある。・目標達成、取組の方向性をわかりやすくすることが大事。・高齢化が著しいので、見守りや手助け等の細かい配慮が必要。地域差があるので地区別に助言が必要。・区民意識調査のデータで「困ったときにしてほしい手助け」の項目は現場の実感がよく現れている。・異論なし。・行政、区社協、地域包括支援センターの役割・機能を描き、マネジメント機能の検討を計画に盛り込めれば理想。
<p>＜対応・考え方＞</p> <p>福祉と保健が一体となった計画として策定しております。計画については、積極的に広報・説明を行っていきます。計画の策定にあたり、「素案」でお示した取組項目について、区の取組内容を具体的に盛り込みました。区内のデータについては、引き続き地域別に集積・分析し、今後の計画の推進に活用していきます。いただいた御意見を今後の計画の推進に生かしてまいります。</p>
区役所の取組について
<p>＜意見内容＞</p> <ul style="list-style-type: none">・後継者がいないので役員が固定、係が重複し、内容がマンネリ化するのに苦慮している。・高齢者と学校が交流するシステムとして、小中高校の特別授業に高齢者が参加すれば学生にボランティアの意識が生じると思う。・自治会町内会活動支援講座の開催は、社会の役に立ちたいと願う中高年者等の意欲をかき立て、次世代の担い手の確保につながると考える。・集合住宅や新規住宅地では、災害時要援護者の把握が難しいため、条例で問題を解決してほしい。・住民の主体的な活動を推進するためには、情報提供の機能をもう少し強調したほうがよい。各世代の情報の取り方に合わせた発信を目指してほしい。
<p>＜対応・考え方＞</p> <p>担い手の発掘は区としても重要な課題と認識し、いただいた御意見も参考に、今後の取組を行ってまいります。災害時要援護者の情報の把握や、さまざまな世代への情報発信について、今後の取組の中でさまざまな方法を検討してまいります。</p>

3 計画全般について

計画のあり方など
<p>＜意見内容＞</p> <ul style="list-style-type: none">・第1期計画の振り返り、評価、検証を第2期計画にどのように反映したのか。・区・地区社会福祉協議会や、区・地区社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」との関係を示すべきである。・第2期計画の内容や経過は住民目線に立ったものであったか疑問である。・過度に住民に地域福祉の推進を求めると、地域福祉に住民が参加しなくなり、福祉ニーズを持つ住民が支援の必要性を表明できなくなるのが、全国的な傾向と言える。
<p>＜対応・考え方＞</p> <p>第2期計画では引き続き第1期計画の「基本理念」を生かしていくこととしました。現在、区・地区社会福祉協議会の中で地域福祉保健計画と地域福祉活動計画の関係について検討が行われています。計画の推進にあたり、区・地区社会福祉協議会と連携を図ってまいります。</p> <p>計画の策定にあたり、地域別懇談会等を開催し、多くの地域の方に御参加いただき、懇談会等で出された地域の方々の御意見をもとに策定しております。計画の推進にあたっては、地域の方々とともに進めてまいります。</p> <p>地域の取組については、大きな負担とならないよう、現在地域で取組まれている活動をベースに話し合いを進めてまいりました。また、地域ケアプラザ、区役所が地域の福祉の課題について、ともに行う取組をまとめました。</p>
その他の御意見
<p>＜意見内容＞</p> <ul style="list-style-type: none">・継続して地域の行事、活動に携われるようにする。・エリア別の会合がもたれたことで、各地区の状況がわかり、参考になり、今後の励みになった。「人の役に立つことをしましょう」という教育を家庭・学校で行う必要がある(ボランティアの授業、地域の清掃等)。・どの地域でも子ども、大人、高齢者の助け合いが進んでいる。老人ホームが多くできるよう、力を注いでほしい。・ワンルームマンション等の住民は、転居率が高く、地域ルールの広報の効果が継続しない傾向がある。・地域の役員の考え方や発言が的を得ていない。・地域別懇談会の会場のアクセスが悪いので、会場を考えてほしい。
<p>＜対応・考え方＞</p> <p>さまざまな考え方や価値観の方々が集まって地域が構成されており、多くの方の考えや力を合わせることで、これまでさまざまな取組が行われてきました。今後も地域における話し合いなど、手法を検討しながら支援を行ってまいります。いただいた御意見は今後の参考とさせていただきます。</p>